

あだ名

みなさんは、友だちや家族に、何と呼ばれていますか？ 「パトリック」
「じょうたろう」「みきこ」など、名前で呼ばれていますか？ あだ名で呼ばれて
いますか？

「あだ名」にはいろいろなものがありますが、もともとの名前を少し短くした
ものが多いようです。例えば、「パトリック」は「パット」、「じょうたろう」は
「じょう」などと呼ばれることがあります。また、「みきこ」という名前の人を
「みっきー」と呼ぶように、もともとの名前を少し変えたりすることも多いです。
他にも、「石田」という名前の人を「石ちゃん」「石っち」「石ぴょん」などと呼
ぶように、名前の一部に短い言葉を付けたあだ名もよく聞きます。

「あだ名」の中には、もともとの名前と全く関係のないものもあります。例え
ば、私の知り合いに「もり」と呼ばれている人がいますが、「出身が青森県」と
いうだけで、本人の名前とは全く関係がありません。「青森」の「青」ではなく、
「森」の方があだ名になっている理由は特にありません。ただ、なんとなく、誰
かが最初に「もり」と呼び始めて、だんだんとその呼び方が広まりました。また、
「もっち」というあだ名の知り合いもいますが、こちらも本人の名前とは関係が

なく、白くて柔らかそうな顔が「もち」に似ているという理由でつけられたあだ名です。他にも、冬にいつも帽子とマフラーをしていた友だちは、目の部分以外、顔が見えなかったので「忍者」と呼ばれるようになりました。今では「忍者」を短くして「にん」と呼ばれています。ちなみに、私の息子は1歳の頃、ほとんど泣かず、いつも偉い人のように周りの大人をじっと見ていたので、保育園の先生たちに「社長」と呼ばれていました。息子が2歳になる頃、同じような雰囲気の子が同じクラスに入ってきたので、その子のあだ名が「社長」となり、息子のあだ名は「会長」となりました。



あだ名の良いところは、それを呼ぶ人と呼ばれる人の、心の距離が近くなることだと思います。しかし、あだ名は良いところばかりではありません。例えば、「めがね」と呼ばれることは、人によっては嬉しいかもしれませんが、嫌だと感じる人もいるかもしれません。また、体型や肌の色、髪の様子など、見た目をばかにするようなあだ名は、誰にとっても嫌なものでしょう。そうしたあだ名が、差別やいじめにつながることもあるようです。

最近、日本の小学校では「あだ名を禁止する」というルールを作る小学校が増えてきています。これは、2000年代から、いじめに苦しんで自殺する子どもたちが増え、それを防ぐための法律が作られたのがきっかけです。「あだ名を禁止する」というルールは、国の法律の中にはありません。しかし、あだ名の問題がいじめに関係していることも多いため、多くの小学校で「あだ名を禁止する」というルールが作られたのです。

また、日本では男の子の名前には「くん」、女の子の名前には「ちゃん」や「さん」を付けて呼ぶことが一般的ですが、最近はLGBTQ+など多様な性への配慮も大切です。そこで、日本の小学校では、男の子でも女の子でも「〇〇さん」と、名前に「さん」を付けて呼ぶところも増えてきています。

息子（今は社長でも会長でもなく、名前と呼ばれています）の小学校では、クラスによって、呼び方のルールが違うようです。息子のクラスでは、先生が子ど

もを呼ぶときも、子どもたち同士で呼び合うときも、あだ名か、名前をそのまま使うそうです。しかし、同じ小学校の中でも、「〇〇さん」が使われているクラスもあるようで、実際には先生の考え方によって呼び方のルールは違うようです。

ただ、学校やクラスの中で呼び方のルールを作っても、学校の外の様子までは変えることはできません。また、ルールがあることによって、いじめや差別の問題が「先生や大人のいないところ」や「インターネットの世界」などの、見えにくい場所に隠れてしまうかもしれません。そもそも、友だち関係の問題などは、ルールによってコントロールできない部分も大きいのではないのでしょうか。

わたしは小学校であだ名を使うことに賛成です。しかし、あだ名で呼び始める時、相手の気持ちを考える想像力が何より大切だと思います。

(1710 字)

(2021.11 Written by Junko SATO)

(All pictures are drawn by Akino SASAKI)



この作品はクリエイティブ・コモンズ 表示 - 非営利 - 継承 4.0 国際 ライセンスの下に提供されています。この作品を利用する場合は、「たどくのひろば」を出典として示してください。

例) 出典: 「たどくのひろば」 (<http://tadoku.info>)

This work is licensed under a Creative Commons Attribution-NonCommercial-ShareAlike 4.0 International License. When you use this work, please indicate the source as in the example above.